

支援事例

商工会名	玉名市 商工会	氏名	田中 郁子	情報開示の可否	可
支援テーマ	販路拡大・販路支援	題名	新拠点整備による販路開拓と生産性の向上		
	事業承継				
	その他				
	くまもと型補助金				

<支援企業の概要>

事業所名	(同) A デンタルラボ	従業員	2 人	創業/ 会社設立	創業日	1986年6月1日
業種	歯科技工業	うち家族従業員	人		業歴	38年9ヶ月

○企業概要

1986年6月熊本県玉名市岱明町鍋にアキデンタルラボラトリーとして歯科技工所を設立。2013年9月2日の法人化に伴い、Aデンタルラボ(同)に社名を変更した。親子3名と歯科技工士社員1名の小規模な技工所であるが、高い技術を持ち、国内のみならず海外の患者や歯科医院、歯科医療業界から評価されている。主な歯科治療の自費診療における補填物（オールセラミック、インプラント）を作製している。

また、代表の子息は、歯科医療業界ではNo.1のシェアを誇る株GCのデンタル技工設備のインストラクターをしており、九州デンタルショー等の有名な展示会での講師実績もある。更に技術力に加え、指導力にも優れていることから学校講師もしている。インプラント技術で世界的に有名なイェトバン・ウルバン氏の依頼を受け海外でも活躍、ハンガリーには当社オフィスを持ち、年に4回渡航し欧州での活動も行っている。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

【支援課題・支援計画】

（支援課題）事業計画を進めるために、くまもと型補助金の活用が必要

（短期計画）くまもと型補助金により新たな拠点への進出

（中長期計画）TSMC工場近隣の歯科医院・クリニックへの認知度向上とこれらからの売上拡大（既存拠点と同等の最新機械を導入し生産性向上）

（現状分析）・強み→デジタル式技工に対応するために大手技工所に引けを取らない設備の充実を図り、少人数体制のため、世界最大のデジタルインプラントメーカーであるドイツのストロマンと契約し、仕事の効率化のための手では補えないものをCAD/CAMシステムを使い受注している。

・弱み→業界全体に人材不足が襲っており、技術者の高齢化と人手不足が問題となっている。

・機会→2024年に工場が稼働し始めた世界最大手半導体企業TSMCの影響により、人口が増加しているエリアでの歯科クリニックの新規オープン

・売れ筋商品・インターネットから依頼をすることができる仕組み

○支援内容および支援後の状況・効果

専門家派遣指導を活用し、専門家（中小企業診断士）による事業計画書のブラッシュアップ
既存の場所ではスペースが限られており、新たな機械設備を導入するスペースや新しいスタッフの作業スペースがない状態である。そのため、今後2拠点目となる事業所を、今後人口が確実に増加するTSMC工場近くの住宅地や商業施設付近にオープンする。それに合わせて歯科医院や歯科クリニックも新規オープンするため、利便性の高い熊本市東区に新たな拠点を整備することで、これらのクリニックからの受注拡大を図る。

専門家派遣によるブラッシュアップを行い、事業計画書作成において、合志町、菊陽町、大津町、熊本市北区、東区での販路開拓の手段を専門家から具体的に指導・助言をいただき、計画書に落とし込んだ。

更に、くまもと型経営発展支援事業補助金の加点を獲得するために、経営力向上計画の認定書の書き方を指導した。

(進捗・成果)

くまもと型補助金の採択を受けることができ、2拠点での生産体制が整備されたことで、既存拠点と同等の最新機械を導入し生産性の向上が図られ、これまで断らざるを得ない依頼だったものを受注できるようになり、熊本県外からの依頼増加もあって売上拡大が図れ、またオンラインによる義歯依頼プラットフォームにより国外等、遠隔地からの依頼も対応できるようになった。

《インターネットからの義歯作製の流れ》



○今後について（目標や課題など）

今後は、2024年に工場が稼働し始めた世界最大手半導体企業TSMCの影響により人口が増加している熊本市北区・東区・合志市・菊陽町・大津町エリアでは歯科クリニックの新規オープンが相次いでいる。

これまではなかった1つのエリアでの歯科クリニックオープンは、大きな機会となると考えられ、新たに開業するTSMC工場近隣の歯科医院・クリニックへの認知度向上を図り、これらからの売上拡大を行っていく計画である。